



Firmware Upgrade
For All Mediatrix Products

v. 43.0.1125
2018-09-13

(JP tran) Ver1.0 (20190904)

目次

<u>ファームウェアパック</u>	<u>3</u>
<u>ファイルサーバー</u>	<u>4</u>
<u>FTP サーバーの構成</u>	<u>4</u>
<u>TFTP サーバーの構成</u>	<u>4</u>
<u>HTTP サーバーの構成</u>	<u>5</u>
<u>HTTPS サーバーの構成</u>	<u>5</u>
<u>SNTP サーバーを使用するための Mediatrice ユニットの構成</u>	<u>6</u>
<u>ファームウェアのインストール</u>	<u>8</u>
<u>ファームウェアパックの ZIP ファイルの抽出</u>	<u>8</u>
<u>DGW Web インターフェイスを使用した DGW ファームウェアバージョンのインストール</u>	<u>9</u>
<u>以前のファームウェアへのロールバック</u>	<u>11</u>
<u>以前のファームウェアバージョンに戻す</u>	<u>11</u>
<u>パラメーター</u>	<u>12</u>
<u>Fpu>構成パラメーター</u>	<u>12</u>
<u>著作権表示</u>	<u>13</u>

ファームウェアパック

ファームウェアパックは、新しいリリースが利用可能になったときに Mediatrix ユニットにインストールするモジュールと機能を含む ZIP ファイルです。

ファームウェアパックを解凍すると、事前定義されたツリーアーキテクチャに従ってコンテンツが抽出されます。これにより、Mediatrix ユニットがファームウェアを適切にアップグレードするために必要なファイルを含むディレクトリが作成されます。

ファイルサーバー

FTP サーバーの構成

始める前に

FTP ルートパスの設定方法の手順に慣れていない場合は、FTP サーバーのドキュメントを参照してください。

情報

FTP トランスポートプロトコルを使用する場合は、この手順を実行します。

手順

- 1) 割り当てられたサーバーで FTP サービスを設定します。
- 2) FTP サーバーに Mediatrix ユニットが到達できることを確認します。

注: ファイルサーバーがファイアウォールの背後にある場合は、TCP ポート 21 が開いていることを確認してください。

次の一歩

[ファームウェアパックの ZIP ファイルの抽出 \(p. 8\)](#)

TFTP サーバーの構成

始める前に

TFTP ルートパスの設定方法に関する手順に慣れていない場合は、TFTP サーバーのドキュメント。

情報

TFTP トランスポートプロトコルを使用する場合は、この手順を実行します。

手順

- 1) 割り当てられたサーバーで TFTP サービスを設定します。
- 2) Mediatrix ユニットが TFTP サーバーに到達できることを確認します。

注: ファイルサーバーがファイアウォールの背後にある場合は、UDP ポート 69 が開いていることを確認してください。

次の一步

[ファームウェアパックの ZIP ファイルの抽出 \(p.8\)](#)

HTTP サーバーの構成

始める前に

HTTP ルートパスの設定方法の手順に詳しくない場合は、HTTP を参照してください
サーバーのドキュメント。

情報

HTTP トランスポートプロトコルを使用する場合は、この手順を実行します。

手順

- 1) 割り当てられたサーバーで HTTP サービスを設定します。
- 2) Mediatrrix ユニットが HTTP サーバーに到達できることを確認します。

注: ファイルサーバーがファイアウォールの内側にある場合は、TCP ポート 80 が開いていることを確認してください。

次の一步

[ファームウェアパックの ZIP ファイルの抽出 \(p.8\)](#)

HTTPS サーバーの構成

始める前に

HTTPS ルートパスの設定方法の手順に慣れていない場合は、HTTPS のドキュメントを参照してください。

情報

HTTPS トランスポートプロトコルを使用する場合は、この手順を実行します。

手順

- 1) 割り当てられたサーバーで HTTPS サービスを設定します。
- 2) Mediatrrix ユニットが HTTPS サーバーに到達できることを確認します。

注: ファイルサーバーがファイアウォールの背後にある場合は、TCP ポート 443 が開いていることを確認してください。

3) **Management/Certificates** タブの **Certificate Import Through Web Browser** テーブルに、**Path** フィールドで選択した HTTPS サーバーを認証する証明書があり、**Type** フィールドで **Other** が選択されている。

- 4) 構成パラメーターを設定します。

次の一步

[SNTP サーバーを使用するための Mediatrix ユニットの構成 \(p.6\)](#)

SNTP サーバーを使用するための Mediatrix ユニットの構成

始める前に

使用可能な SNTP サーバーがあることを確認してください。

情報

あなたがフィールドとボタンの意味に精通していない場合は、クリックしてください Show Help に位置し、Web ページの右上隅。アクティブにすると、オンラインヘルプを提供するフィールドとボタンが緑色に変わり、それらにカーソルを合わせると説明が表示されます。

手順

- 1) Network/Host に移動します。
- 2) SNTP Configuration テーブルの、Configuration Source 選択リストから、SNTP パラメータを取得する接続タイプを選択します。

注: 完了静的 SNTP サーバーを使用している場合のみ [ステップ 3](#) を完了して下さい。それ以外の場合は、[ステップ 4](#) に進んでください。

- 3) 使用している各 SNTP サーバーの IP アドレスまたはドメイン名とポート番号を指定します。
- 4) 必要に応じて、表示されている Synchronisation Period のデフォルト値を変更します。
- 5) 必要に応じて、表示される Synchronisation Period on Error のデフォルト値を変更します。
- 6) Apply をクリックします。

結果

SNTP ホスト名とポートは、Network/Status の下の Host Status テーブルに表示されます。

SNTP Configuration	
Configuration Source:	Automatic IPv4 ▼
Primary SNTP:	192.168.10.10:123
Secondary SNTP:	
Third SNTP:	
Fourth SNTP:	
Synchronization Period:	1440
Synchronization Period On Error:	60

次の一步

[ファームウェアパックの ZIP ファイルの抽出 \(p.8\)](#)

Simple Network Time Protocol (SNTP)

Simple Network Time Protocol (SNTP) は、再起動時に Mediatrix ユニットのクロック（日、月、時間）を更新および同期するために使用されます。

Mediatrix ユニットには、リアルタイムクロックが含まれていないため、シャットダウン時に正確な時間を維持できません。たとえば、HTTPS を使用している場合、または発信者 ID 機能のために、システムが正確な時間にアクセスできる必要があります。このような場合、利用可能な SNTP サーバーを備えた SNTP クライアントを構成して、システムが時刻を更新してローカルクロックに同期できるようにする必要があります。SNTP は、トランスポートとして UDP を使用して、SNTP クライアントを SNTP または NTP サーバーと同期するために使用されます。Mediatrix ユニットは、SNTP バージョン 3 クライアントを実装しています。

ファームウェアのインストール

ファームウェアパックの ZIP ファイルの抽出

始める前に

ファイルサーバーを構成する必要があります。以下の手順のいずれかを最初に完了する必要があります。

- [FTP サーバーの構成](#) (p.4)
- [TFTP サーバーの構成](#) (p.4)
- [HTTP サーバーの設定](#) (p.5)
- [HTTPS サーバーの構成](#) (p.5)

手順

1) ファームウェアパックの ZIP ファイル (MediatrrixXXXX_Dgw_2.0.2X.XXX_XXXX-MX-D2000.zip) を解凍します。

注: 任意のコンピュータでファイルを解凍できます。ただし、アップグレードはファイルサーバーにあるファームウェアパックファイルのみを使用して実行されることに注意してください。したがって、解凍したファイルを含むフォルダーをファイルサーバー (MediatrrixXXXX フォルダー) にコピーする必要があります。

重要: 解凍されたフォルダーの名前は変更しないでください。

参考ファイル名: [Mediatrrix44XX_Dgw_45.0.1809_44XX-MX-D2000-357.bin](#)

拡張子も忘れずに！！ pass は正確に記述する事！

2) あなたが使用することを選択したファイルサーバー (FTP、HTTPS、TFTP、または HTTP サーバー) に、ファームウェアパックの解凍されたファイルを含む MediatrrixXXXX フォルダーをコピーします。

注: MediatrrixXXXX フォルダーは通常、ファイルサーバーのルートフォルダーにインストールされます。別のパスを選択できますが、パスのルートはファイルサーバー上にある必要があります。そうでない場合、アップグレードは失敗します。

結果

ファームウェアパックファイルをシステムにインポートする準備が整いました。

次の一歩

[DGW Web インターフェイスを使用した DGW ファームウェアバージョンのインストール](#) (p.9)

DGW Web インターフェイスを使用した DGW ファームウェアバージョンのインストール

始める前に

必ず構成のバックアップを作成し、構成スクリプトを保存してから次のステップに進みます。

注: 私たちの QA テストは、新しいリリースごとに 10 バージョンをカバーしています。からアップグレードする場合 10 より古いリリースをロードバックする場合は、アップグレードする前に中間バージョンをインストールする必要があります

最新のもの。唯一の例外は、DGW 2.0.26.451 から DGW 2.0.42.768 にアップグレードする場合です。

使用するプロトコルのタイプに応じて、次の手順を完了する必要があります。

- [FTP サーバーの構成](#) (p. 4)
- [HTTP サーバーの設定](#) (p. 5)
- [TFTP サーバーの構成](#) (p. 4)
- [HTTPS サーバーの構成](#) (p. 5)

情報

あなたがフィールドとボタンの意味に精通していない場合は、クリックしてください **Show Help** に位置し、Web ページの右上隅。アクティブにすると、オンラインヘルプを提供するフィールドとボタンが緑色に変わり、それらにカーソルを合わせると説明が表示されます。

手順

- 1) **Management/Firmware Upgrade** に移動します。
- 2) **Version** フィールドの中の **Firmware Packs Configuration** テーブルに、あなたの **Firmware Upgrade Pack** のバージョンを入力します。
- 3) アップグレード直後にユニットを自動的に再起動する場合は、**Automatic Restart Enable** の選択リストから **Enable** をします。

注意:

Disable を選択した場合、アップグレードを完了するためにユニットを手動で再起動する必要があります。

- 4) **Automatic Restart Enable** から **Enable** を選択した場合は、**Automatic Restart Grace Delay** フィールドに入力します (オプション)。

注: これにより、ユニットが再起動される前にテレフォニーコールが終了するまでの遅延が発生します。アクティブなコールがない場合、ユニットはすぐに再起動します。サービスの遅延を許可する場合は、**System/Services** で同じパラメーターを設定します。

5) デフォルト設定でシステムを再起動する場合は、**Default Settings On Restart** フィールドを **Enable** に設定します。

6) **Firmware Pack** フィールドに、**Dgw** と入力します。

注: 名前では大文字と小文字が区別されることに注意してください。

7) **Transfer Protocol** 選択リストの **Transfer Configuration** テーブルで、ファームウェアアップグレードの転送に使用するプロトコルのタイプを選択します。

注: これは、構成したファイルサーバーと一致している必要があります。

8) **Host Name** フィールドに、ファイルサーバーの IP アドレスまたは FQDN を入力します。

9) **Location** フィールドに、ファイルサーバーのルートを基準にした **MediatixXXXX** フォルダのパスを入力します。

注: **MediatixXXXX** フォルダがファイルサーバーのルートにコピーされた場合、このフィールドは空のままにしておく必要があります。

10) サーバーで認証が必要な場合は、ユーザー名とパスワードを入力します。

注: ファイルサーバーが起動していることを確認してください。

11) 今すぐインストールを適用

注: ファームウェアパックの更新が失敗すると、Mediatix ユニットはファームウェアを 3 回ダウンロードしようとしません。

結果

すべての LED が左から右に循環します。アップグレードプロセスには最大 20 分かかり、ユニットは数回再起動されます。アップグレードが完了すると、新しいファームウェアパックバージョンが **Firmware Pack Installed** テーブル (**Management / Firmware Upgrade**) の下に表示されます。

以前のファームウェアへのロールバック (元に戻す)

以前のファームウェアバージョンに戻す

始める前に

リカバリバンクで以前のバージョンが使用可能な場合にのみ、ファームウェアの以前のバージョンに戻すことができます。

情報

この機能は、Mediatrix 4102S モデルには適用されません。

手順

- 1) **Management/Firmware Upgrade** に移動します。
- 2) **Firmware Pack Installed** テーブルで、**Rollback** をクリックします。

注: [ロールバック] ボタンは、リカバリバンクで以前のバージョンが使用可能な場合にのみ使用できます。

注: 現在のファームウェアバージョンのインストール後に実行された構成の変更は失われます。

注: ファームウェアのアップグレード前の構成パラメーターが復元されます。

結果

以前にインストールしたバージョンでシステムが再起動されます。

パラメーター

サービスの大部分は Web ブラウザーで構成できますが、構成の一部の側面は、MIB パラメーターを使用し
てのみ完了できます。

- Mediatrix Unit Manager Network (UMN) などの MIB ブラウザーを使用します。
- CLI を使用します。
- 構成パラメーターを含む構成スクリプトの作成。

Fpu>構成パラメーター

Mfp Transfer Tls バージョン

Fpu を参照してください。リファレンスガイドの MfpTransferTlsVersion。

Mfp Transfer Cipher Suite

Fpu を参照してください。リファレンスガイドの MfpTransferCipherSuite。

Mfp 転送証明書の検証

Fpu を参照してください。リファレンスガイドの MfpTransferCertificateValidation。

Mfp 転送証明書の信頼レベル

Fpu を参照してください。リファレンスガイドの MfpTransferCertificateTrustLevel。

著作権表示

Copyright©2018 Media5 Corporation。

このドキュメントには、Media5 Corporation 独自の情報が含まれています。

Media5 Corporation は、このドキュメントおよび知的財産権に対するすべての権利を留保します。
文書と、それが包含および代表する技術とノウハウ。

この出版物は、全体または一部を問わず、いかなる形式でも複製することはできません。

Media5 Corporation による事前の書面による承認。

Media5 Corporation は、この出版物をいつでも変更および変更する権利を留保します。

そのような改訂や変更を個人や団体に通知する義務はありません。